

2018年7月24日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
1番5号 PMO 日本橋江戸通
TEL. 03-3664-5811 FAX. 03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL. 03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

新型・次世代太陽電池の世界市場を調査

— 2030年市場予測（2017年比） —

■新型・次世代太陽電池 2,433億円（811.0倍）
～ 既存太陽電池とは異なる用途開拓が進む ～

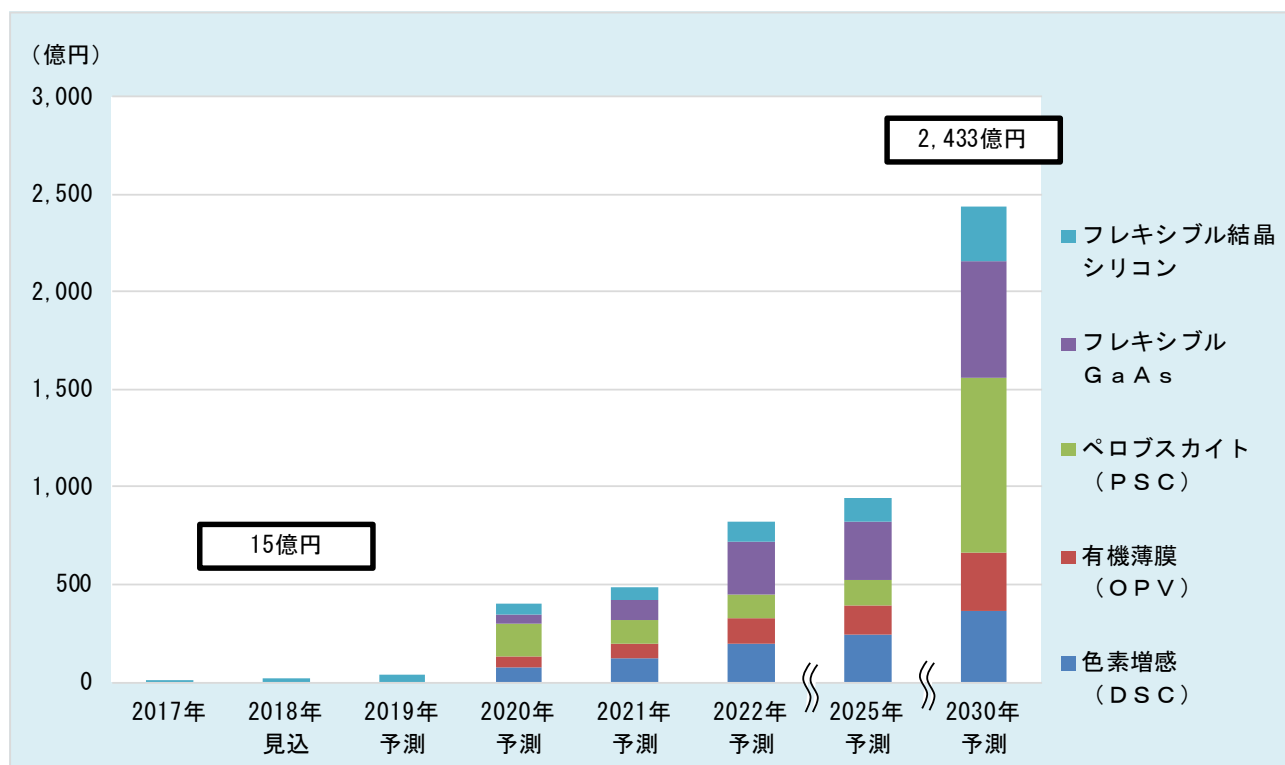
総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、近年、商用化に向けた取り組みが活発化しているフレキシブル結晶シリコン、フレキシブルGaAs、ペロブスカイト、色素増感、有機薄膜といった新型・次世代太陽電池市場を調査した。

その結果を「**新型・次世代太陽電池の開発動向と市場の将来展望**」にまとめた。

この調査では新型・次世代太陽電池を商用化している企業、あるいは商用化に目途をつけた国内および海外企業21社を対象に研究開発の現状と開発ロードマップ、用途開拓の動向を整理分析し、新型・次世代太陽電池および主要構成部材の市場の方向性を示した。

<調査結果の概要>

■新型・次世代太陽電池世界市場（モジュールベース）



※フレキシブル結晶シリコン、フレキシブルGaAs、ペロブスカイト（PSC）、色素増感（DSC）、有機薄膜（OPV）、を対象とする。

2017年の既存太陽電池（結晶シリコン（単結晶、多結晶）、薄膜シリコン、CI(G)S、CdTe）市場は5兆7,830億円、それに対して新型・次世代太陽電池市場は3億円であった。既存太陽電池との置き換えりが実現すれば、巨大な市場を形成する可能性がある。すでに商用化されている色素増感太陽電池（DSC）と有機薄膜太陽電池（OPV）は、既存太陽電池と同様に太陽光の利用に加え、室内光の利用による用途開拓が進んでいる。しかし、既存太陽電池は製造コスト、供給体制、技術水準で大きく先行しており、販売価格は数十円/W台と

新型・次世代太陽電池よりも大幅に安価である。現状の価格競争力では、早急に新型・次世代太陽電池が主流化する可能性は低く、まずは既存太陽電池と競合しないIoT機器・無線センサーの電源や、ZEB/ZEHの実現に寄与するBIPV（建材一体型太陽電池）といった用途から市場形成が進んでいくと予想される。

<調査対象>

新型・次世代太陽電池				
・フレキシブル結晶シリコン	・フレキシブルGaAs	・ペロブスカイト(PSC)	・色素増感(DSC)	・有機薄膜(OPV)
企業事例				
国内および海外企業21社				

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2018年4月～6月

以上

資料タイトル：「**新型・次世代太陽電池の開発動向と市場の将来展望**」

体 裁：A4判 60頁
 価 格：PDF版 300,000円+税
 発 行 所：株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通
 TEL：03-3664-5811（代） FAX：03-3661-0165
 URL：<https://www.fuji-keizai.co.jp/> e-mail：info@fuji-keizai.co.jp
 調 査・編 集：大阪マーケティング本部 第三部
 TEL：06-6228-2020 FAX：06-6228-2030

この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL：<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>